

1 産地基幹施設等支援タイプ  
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(都道府県名: 茨城県 令和2年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニユー① 類別	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニユー② 類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(平成28年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	3年後(令和元年)	目標値(令和元年)	達成率				計画時(平成28年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	3年後(令和元年)	目標値(令和元年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
境町	茨城むつみ農協	飼料用米	(飼料用米)新規需要米の作付面積のうち米粉・飼料用米向けに育成された多収性専用品種の割合89.6%	149.8haのうち多収性品種104.3ha(69.6%)	154.1haのうち多収性品種107.3ha(69.6%)	157.1haのうち多収性品種127.8ha(81.3%)	157.1haのうち多収性品種137.9ha(90.6%)	149.8haのうち多収性品種134.2ha 多収性専用品種の割合89.6%	105%	麦	縞葉枯病耐病性品種「月の光」の普及啓発活動の結果、目標値を達成することができた。	(麦)事業実施地区における一等比率44.0%	一等比率29% 総収穫量1149.9t中、344.8t	一等比率30.6% 総収穫量1348.9t中、413.4t	一等比率28.7% 総収穫量1145.9t中、329.1t	一等比率31.0% 総収穫量1484.8t中、460.5t	一等比率44% 総収穫量1149.9t中、505.9t	13%	品質向上物流合理化施設(品質向上物流合理化施設・建物)・鉄骨造平屋建1,955.00㎡  (設備) ・計量機1基 ・精米機1式 ・フレコン計量器×1式 収容能力:1,296t 処理量:主食用米2,775t 飼料用米950t  (乾燥調整設備) ・循環式乾燥機:3基 ・籾摺機、粒選別機、石抜機、色彩選別機、計量機各1基 ・フレコン計量器×1式 ・処理量:大麦480t、小麦760t	554,979,600	168,777,000		386,202,600	平成30年10月30日	麦:適正は種・適期収穫の指導並び栽培指導を図り、関係機関を通じて等級比率の向上を今後も指導していく。 飼料用米:引き続きイネ縞葉枯れ抵抗品種の「月の光」を推進してまいります。	(麦)改善計画による効果が顕著であることから、目標達成に向けて更なる取り組みの強化に努められたい。 (米)目標値を達成しているが、今後も新規需要米への転換を推進されたい。			

都道府県平均達成率	56.5%	総合所見	目標未達成の「麦」については、令和元年12月に改善指導計画を作成し、県・町・事業主体が連携して生産者を指導しているほか、県の普及部門による農家の個別巡回指導を実施している。この結果、令和2年の実績は達成率がほぼ100%となる見込みのため、生産者への指導を継続することにより、近い時期に達成率100%も可能と思われる。
-----------	-------	------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) 1 別紙様式1号の1の(2)のIに準じて作成すること。  
 2 要綱第3の2の(2)のAの(ア)のただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。